

みずほCustomer Desk Report 2018/08/03号(As of 2018/08/02)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	111.73
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	111.64	1.1664	130.21	1.3123	0.7405
SYD-NY High	111.74	1.1667	130.25	1.3129	0.7412
SYD-NY Low	111.31	1.1582	129.25	1.3015	0.7355
NY 5:00 PM	111.64	1.1587	129.35	1.3017	0.7363
NY DOW	25,326.16	▲ 7.66	日本2年債	-0.1000	▲ 1.00bp
NASDAQ	7,802.69	95.40	日本10年債	0.1200	0.00bp
S&P	2,827.22	13.86	米国2年債	2.6634	▲ 1.62bp
日経平均	22,512.53	▲ 234.17	米国5年債	2.8540	▲ 2.03bp
TOPIX	1,752.09	▲ 17.67	米国10年債	2.9850	▲ 1.87bp
ソコ日経先物	22,585.00	▲ 65.00	独10年債	0.4575	▲ 1.65bp
ロンドンFT	7,575.93	▲ 76.98	英10年債	1.3755	▲ 0.30bp
DAX	12,546.33	▲ 190.72	豪10年債	2.7295	2.35bp
ハンセン指数	27,714.56	▲ 626.18	USDJPY 1M Vol	6.45	▲ 0.25%
上海総合	2,768.02	▲ 56.51	USDJPY 3M Vol	7.38	0.05%
NY金	1,220.10	▲ 7.50	USDJPY 6M Vol	7.70	0.03%
WTI	68.96	1.30	USDJPY 1M 25RR	-0.85	Yen Call Over
CRB指数	192.65	1.01	EURJPY 3M Vol	8.00	0.38%
ドルインデックス	95.16	0.54	EURJPY 6M Vol	8.39	0.29%

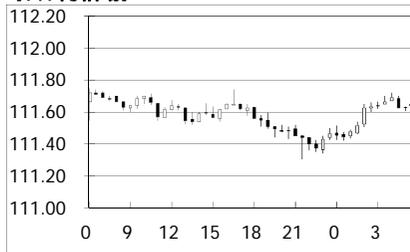
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
18:00	欧	PPI(前月比/前年比)	6月 0.4%/3.6%	0.3%/3.5%
20:00	英	イングランド銀行政策金利	- 0.750%	0.750%
21:30	米	BOE資産購入目標	- 435b	435b
20:30	英	カーニーBOE総裁講演	-	-
21:30	米	新規失業保険申請件数	- 218k	220k
23:00	米	製造業受注(前月比)	6月 0.7%	0.7%
23:00	米	耐久財受注(前月比)/同(除く輸送用機器・前月比)・確報	6月 0.8%/0.2%	-/-

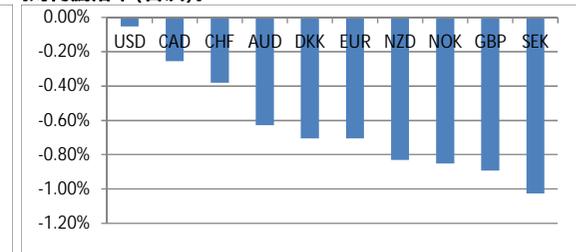
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月3日	10:30	豪 小売売上高(前月比)	6月 0.3%	0.4%
	18:00	欧 小売売上高(前月比)	6月 0.4%	0.0%
	21:30	米 貿易収支	6月 -\$46.5b	-\$43.1b
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	7月 193k	213k
	21:30	米 失業率	7月 3.9%	4.0%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	7月 0.3%/2.7%	0.2%/2.7%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.00-112.50	1.1500-1.1700	128.50-130.50

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円相場はといった動き。米中貿易摩擦懸念の強まりや軟調なアジア株式市場を背景に、ドル円は弱含む場面も見られた。しかし、米新規失業保険申請件数や米製造業受注が予想の範囲内であったことや、米株式市場が徐々に下げ幅を縮小する動きにつれて下げ幅を縮小した。本日は米7月雇用統計の発表を控えている。米中貿易摩擦のヘッドラインに注意する必要があるものの、良好な結果となれば、買戻しが入り上昇するものと思われる。

アジア	東京時間のドル円は111.64レベルでオープン。前日のFOMCでは今後の金融政策に関するものは無く特段材料視されなかった一方で、貿易摩擦に対する懸念の高まりが意識されたこと等からアジア株が全般的に軟調推移となるとドル円は上値の重い推移となり111円台半ばまで下落。午後には両宮日銀副総裁の「フォワードガイダンスで示した当分の期間、あらかじめ決まっている訳ではない」との発言が伝わったものの、市場の反応は限定的となった。その後は狭いレンジ内の値動きに終始し111.62レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は111.62レベルでオープン。米中貿易摩擦でドルは他通貨に対しては強含むものの円に対しては終始弱含む。世界的に株安となる中で典型的なリスク回避の円買いとなり一時111.43まで売られた後、111.45レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3098レベルでオープン。米中貿易摩擦で世界的にドルが買われる中で英中銀の政策決定会合を待つポンドも弱いスタート。正午に英中銀は満場一致で0.25%の利上げを決定し、成長率/インフレ見通しを上方修正すると、ポンドに買戻しが入り1.3129まで上昇。しかし、カーニー総裁の記者会見が始まると従来の弱気の利上げ見通しを嫌気し一気にポンド売りに転じる。一時1.3028まで下落し1.3044レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	海外市場のドル円は111.65辺りを小動きに推移するが、米中貿易摩擦激化の懸念が強まり、円買い優勢な展開の中111.43まで下落し、111.45レベルでNYオープン。オープン直後は海外時間の流れを引き継ぎ111.31まで下落。朝方は米新規失業保険申請件数は予想範囲内の結果となり、発表直後のドル円の反応は限定的だった。しかし、その後円買いが一服し、111.51まで戻す。10時に発表された米6月米製造業新規受注は市場予想通りの結果だったが、米中貿易摩擦懸念から200ドル超下落していたダウ平均が徐々に下げ幅を縮小する動きにつれて111.69まで上昇。終盤は特段米中貿易問題に関するヘッドラインもなく、翌日に米7月雇用統計結果発表を控え、方向感無く推移し111.64レベルでクローズ。一方、イラク政権内で2019年度予算を巡り対立しているとの報道を受け、イラク政局不安が再燃した海外市場では、リスクオフの円買いが強まり対円のコロ売りやユーロドルにも波及したことから、ユーロドルは1.1601まで下落し、1.1616レベルでNYオープン。朝方は海外時間中のユーロ売りが一服し、1.1633まで上昇するが、上値は重く1.1608まで反落。午後は米株の下げ幅縮小や原油価格の上昇を背景としたドル買い、米中貿易問題の解決に向けて進展がなかったためユーロドルは売られ、ユーロドルは再び下落。7月19日以来となる1.1600を割り込み、1.1582をつけ1.1587レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 田家・森谷